

「子どもたちの心は自由です」

教育基本法改悪反対、教育危機突破6・3県民集会

私たちは「教育基本法を読み、生かす」運動を展開してきた。それは私たち自身が、民主的で真理と平和を求め、子どもの尊厳を重んじてきたかを、鋭く問い返されるとりくみでもあった。しかし私たちは、世界に誇れる日本国憲法と、そしてその申し子である教育基本法こそが、子どもたちの幸せを実現し、世界の平和を築く礎であると、ますます確信するにいった。

勝ち残るための競い合いは年々激しさを増し、戦いに疲れ敗れた人たちの怨嗟の聲が巷にあふれている。荒んだ心は惨たらしい犯罪を引き起こし、とりわけ力の弱い子どもたちに襲いかかる。人間はひとりでは生きられない。だからこそお互いを認め合い、とりわけ弱い立場の人を思いやることは、弱肉強食の争いごとや殺戮を繰り返さないために、人類が編み出した知恵であった。

私たちは声を大にして訴える。「これ以上子どもたちを追い込むな！」「強者の論理を押し付けるのは止める！」「国粋化ではなく、国際化を！」

- 日教組 森越康雄委員長 -

とき 6月3日(土)
ところ 鹿児島市中央公民館

日程

13:00~

受付 うたごえ

13:30~

開会

主催者あいさつ

13:50~

記念講演

「教育基本法を変えることがもつ意味」
~良心の自由と子どもたち~

西原 博史さん(早稲田大学教授)

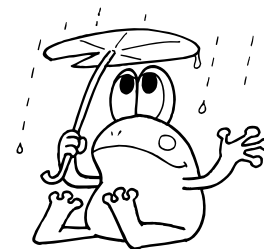
15:05~

「私にとっての教育基本法」アピール

~16:00

閉会

集会後、街頭チラシ配布行動



主催：教育危機突破鹿児島県連絡会議 鹿児島県教職員組合 鹿児島県高等学校教職員組合
県憲法を守る会 県平和運動センター 連絡先 099(223)8345